

HOKKAIDO UNIVERSITY

北海道大学



全学教育科目

5.23.Wed. at Sapporo

16:30~18:00

池田 文人 准教授

ムーミン物語を題材に  
人間心理を読み解き、自立する知性を育てる

講義の流れ  
醍醐味  
ムーミン物語を題材に、交流分析の手法を紹介しながら、物語の場面に実際に適用。グループで討論しながら、分析を発表していく。交流分析の手法を身につけながら物語を読み解いていくことで、自分自身の自我に気づき、自立への道を踏み出せる。

心理分析は一筋縄ではない  
意見は分かれ、討論は熱を帯びていく

「いろいろな意見があつていいんだよ」池田先生のこの言葉に、ぎこちなかった教室の空気が和らぐ。それまで周囲をうかがいながら講義に参加していた学生たちが、しつかりとした表情で発言するようになり、クラスに活気が満ちてくる。

この「ムーミン谷へようこそ」の講義は、フィンランドから生まれ世界中で親しまれているムーミン物語を題材に、場面ごとのキャラクター心理を「交流分析」という手法で読み解きながら進められていく。当然ながら、心理の解釈は無数にある。ただ、学生たちは正解を導き

交流分析を取り入れることで  
人気講義が新たなステージへ

この講義は2003年からつくづく人気の授業。予習としてムーミン物語の1冊を読み込むことに加え、毎回レポートの提出も義務づけられる。「キツイ」内容ながら毎年抽選になる人気講座だ。「今年も100人を超える応募者の中から、定員の23名が抽選で決められたのだとか。選にもれた学生からは毎年「単位はもらえないから受講したい」と懇願されるそうで、今年も「2名の特別生」の受講が認められた。

講義の後半になると、これが同じクラスかと思うほど、グループ討論は熱を帯び、活発な意見がやりとりされるようになり、容れやすくなった。

数多くの「気づき」の中から  
自由な視点が得られ、可能性は広がる

交流分析とは自己を知ることで、自己の成長と変化を導きだす体系的な心理療法の理論。授業では毎回この交流分析の理論を学び、実際にムーミン物語の心理分析に適用しながら、グループ討論と発表というステップで進められていく。「ムーミンの物語には100を超えるキャラクターが登場します。そのさまざまな個性や自我状態に、自分を投影し共感していくことで、自然な気づきが生まれます。キャラクターの自我状態が変わっていくことにより、自立していく様子がわかるんです」と池田先生。そして「他者への気づきは、自分への気づきと変わり、自分を縛っていた心理的な「しがらみ」への気づきにつながるという。

このような心理的な追体験を通して、学生たちは他者との関わりを学びながら、固定化した視点から自らを解放し、より自由な発想力を得ていく。「それは自分が変わるためのステップであり、自立への第一歩でもあるのだ。」

「自由な発想は、多様な視点から生まれ、自立をうながします。そして、最終的には社会の中で、自己の可能性を広げることにつながるしていきます。この講義を通して、物語を読み解き、心理分析のメソッドを学ぶだけでなく、自立への道を踏み出してほしい」と語る池田先生。一見ヤワなムーミンの印象の裏に、スケールの大きなビジョンを内包しながら「知」の入口に立つ学生たちの議論は深まっています。



▲講義に使われているテキスト。



VOICES 学生の声  
of University Students



柴田 翠さん(左)  
文学部1年  
受身でよかった高校の授業と違って、このクラスは自分から発言して、参加していくことが大切。難しいと思っていた専門的な用語も、ムーミンの物語の中で消化していくことで、身近に感じるようになりまし

若杉 真太郎さん(右)  
法学部1年  
以前から、心理学には興味がありましたし、ムーミンのファンなのでこのクラスを選びました。授業では決められた正解はありません。その場面の心理を、どう読みとくか、理由は何かが重要。受講してから、自分が何気なく口にした言葉や、友人の発言が「どんな心理状態の現れなのか」を考えるようになりました。

北海道大学

資料の請求および  
お問い合わせ先

メールアドレス ac-info@academic.hokudai.ac.jp  
〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目 北海道大学アドミッションセンター入学相談窓口  
(北海道大学学務部入試課内) Tel.011-706-7484 (窓口相談)



池田 文人先生  
千葉県立長生高等学校理数科卒。京都大学理学部卒。奈良先端科学技術大学院大学修了(工学博士)。(株)NTTデータ勤務を経て、2001年4月より現職。専門は交流分析、創造性科学、ヒューマンコンピュータインタラクション。著書に「フィンランドの理科教育」(明石書店、共著)など。趣味はピアノ、ヴァイオリン、コントラバス、パドミントン、フィンランド語。

- 文学部
- 教育学部
- 法学部
- 経済学部
- 理学部
- 医学部
- 歯学部
- 薬学部
- 工学部
- 農学部
- 獣医学部
- 水産学部

〔沿革・歴史〕

- 明治9年(1876) マサチューセッツ農科大学長W.S.クラークが札幌農学校教頭として、教師ホイラーと教師ペンハロウ及び学生11人とともに札幌に着、札幌農学校開校式挙行
- 大正7年(1918) 北海道帝国大学が設置され東北帝国大学農科大学が北海道帝国大学農科大学となった
- 昭和22年(1947) 北海道帝国大学が北海道大学となった
- 昭和24年(1949) 国立学校設置法が公布・施行され、新製の北海道大学(法文・教育・理・医・工・農・水産(函館市)の各学部)に改組
- 平成16年(2004) 北海道大学が国立大学法人北海道大学となった

〔オープンキャンパス情報〕

8月5日(日)、6日(月)  
(一部学部・学科は、別日程)



▲札幌キャンパス